

進学指導の具体的方策

(1) 補習について

①平日補習について

●4・5年次の朝補習

- 1) 教科 国語・数学・英語
- 2) 授業内容 授業を補完し基礎・基本の学力を定着させるための内容
- 3) 期間 4月中旬～2月下旬期末考査発表まで。
補習は定期考査時間割発表後、課題テスト前日、高校総体前1週間から中断する。
- 4) 実施曜日、時間
週5回(月～金) 7:50 ～ 8:20 (30分)
- 5) 受講者 4・5年次は、41、42、51HRは全員受講
他のクラスは希望者
- 6) 出席指導(6年次も) 補習出席簿を進路課が作成し、教科担任がつける。欠席や遅刻者についてHR担任と教科担任が協力し指導し、保護者へも出席状況の報告と協力を依頼する。教科担任、HR担任は出席簿を整備・点検する。

●6年次の朝補習・放課後補習

- 1) 教科 国語、数学、英語、地歴・公民、理科
・朝(月～金まで計5回)と放課後(火・水・金 計3回)の週あたり合計8回実施する。
各教科実施バランスは相談する。理社は時間確保
* 朝補習と放課後補習のバランスを取るため、2学期に一部入れ替え
- 2) 授業内容 大学・短大・専門学校入試に対応する学力の養成
- 1) 期間 朝補習は4月中旬～1月中旬まで。
補習は定期考査時間割発表後、課題テスト前日、高校総体前1週間から中断する。
放課後補習も朝補習同様とするが、高校総体前終了までは部活動の練習を最優先する。
- 4) 実施曜日、時間 朝は週5回(月～金) 放課後3回(火水金)
朝 7:50 ～ 8:20 (30分)
放課後7限目 15:45～16:45 (60分)
- 5) 受講者 61HR全員、他のクラスは希望者
- 6) 2学期末考査終了後から終業式までの間は共通テスト対策補習を別に計画する。

②長期休業中の補習について

夏季休業中 4, 5年次 6日間程度、6年次 20日間程度

冬季休業中 4, 5年次 3日間、6年次 5日間

夏 季

4・5年次(全員参加)	6年次
英・数・国 <6日間> 8:30～11:10 (70分2限)	英・数・国・理・地歴・公民<20日間> 8:30～14:30 (100分3限)

4 & 5年次) ① 8:30- 9:40 ② 10:00 -11:10

6年次) ① 8:30-10:10 ② 10:20-12:00 ③ 12:40-14:30

を基本とするが年次により調整する。

冬 季

4・5年次（全員参加）	6年次
英・数・国 ＜3日間＞ 8：30～11：10（70分2限）	英・数・国・理・地歴・公民＜5日間＞ 8：30～14：30（100分3限）

を基本とするが年次により調整する。

③ 国公立大二次対策・私立大対策特別授業

6年次
1月より 授業時間帯に実施 英・数・国・理・地歴・公民・小論文・面接・実技

(2) 課題テストについて

- ① 年間に4・5年次は4回，6年次は2回実施する。
英・国は80分，数50分×2（4年次の第1回のみ60分），理科・地歴・公民は50分で実施する。
英・数・国は200点，理・地歴・公民は100点満点とする。
順位は偏差値合計でつける。（理系で理科2科目，文系で地歴・公民の2教科を受験した場合は平均偏差値で計算する）
- ② 出題範囲は，年度当初に年間計画を生徒に知らせる。
成績は，次年度のクラス分けの資料とする。
英数国については，基本問題50点分(全学年)を合計点とともに残し，推薦会議資料とする。
（数学は①②合計200点中合計50点を基礎点とする）
- ③ 教科・科目の評価に入れる。プラス点として加える。
※なお、応用クラスを希望する生徒は、課題テスト、補習、校外模試を受けることを原則とする。
それらの状況を総合的に判断してクラス替えの資料とする。

(3) 校外模試について

41・42HR，51HR，61HRは全員受験とする。
これ以外のHRについては，希望者受験とする。
ただし，4・5年次は年間3回（7月，11月，1月実施）の進研総合学力テストを全員受験とする。

(4) 「朝の学習」について

- ① 時間 毎日 8：40～8：50（10分）
- ② 内容 自学自習中心の学習。
- ◇ 4，5年次は各教科の基礎的知識の定着を図ることを目標とする。
・内容と実施曜日については、各年次の実態に合わせて、柔軟に対応。
- ◇ 6年次は各自の進路目標達成のための学習を行う。
・各ホームルームで選んだ教材を使い，毎日『朝の学習ノート』を利用した学習を行う。
・クラスの実情に合わせて担任・教科担任から課題を与える。
- ③ 運営 ・4・5年次は年次，教科で学習内容を統一して指導する。
・指導は担任または副担任が行う。
・運営は各年次の担当者を中心に行う。
・朝学ノートを利用する。スコラノートを記入する。

※『朝の学習ノート』は 進学室で90円で販売する。

(5) サタデーサポート（土曜日補習）の実施について

- ① 目 的 : 土曜日等を活用し、希望者を対象に、基礎学力の定着を図り、さらに発展的な学力の向上を図るための支援を行う。
- ② 対 象 : 意欲的に取り組む生徒（希望者）
- ③ 実 施 日 程 : 4, 5 年次（4 日 計 24 時限）
- ④ 実 施 教 科 : 4, 5 年次 英語、数学、国語
- ⑤ 時 間 割 例 : 1 時限目 ; 8 : 30 ~ 9 : 20 (50 分)
2 時限目 ; 9 : 30 ~ 10 : 20 (50 分)
3 時限目 ; 10 : 30 ~ 11 : 20 (50 分)
4 時限目 ; 11 : 30 ~ 12 : 20 (50 分)
5 時限目 ; 13 : 00 ~ 13 : 50 (50 分)
6 時限目 ; 14 : 00 ~ 14 : 50 (50 分)
- ⑥ 内 容 : 校外模試の解説を行う。
- ⑦ 担 当 教 員 : 4, 5 年次は所属年次の教科担任で行う。
- ⑧ そ の 他 : ・受講生徒および指導教員の傷害保険を掛ける。
・PTA 活動行事とする。

(6) 小論文学習について

- ① 目 的 : 10 年後、自分に明るい展望が持てるような生き方を身に付けるため、社会に目を向け、2 つ以上の価値観を持ったり、論理的に思考したり判断する力、自己の考えを表現する力を養成する。
- ② 内 容 : 1) 小論文テストを 4 年 1 回 (12 月)、5 年 2 回 (7 月、12 月)、
6 年 1 回 (7 月) に行い、事前指導と事後指導を計画的に行う。
2) 小論文講演会を行う。(11 月)